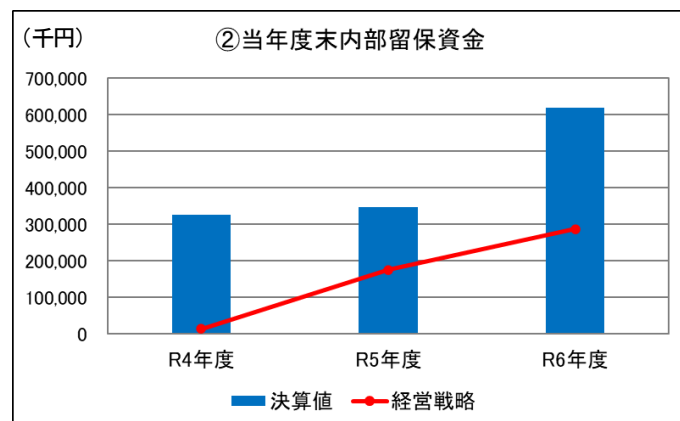
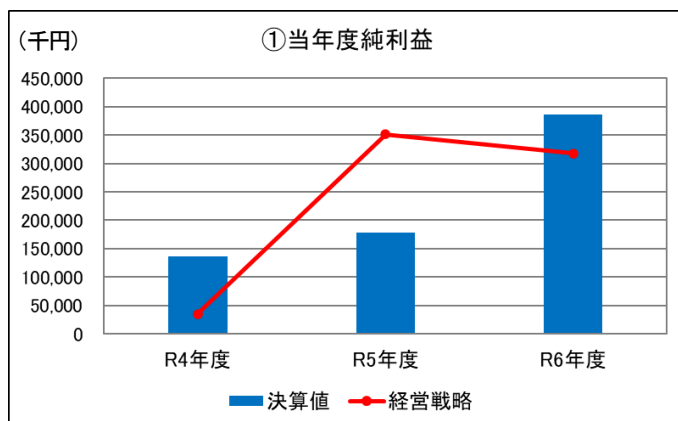


水道事業・工業用水道事業・下水道事業経営戦略の事後検証について

(1) 水道事業会計

(単位:千円)

		R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度 (中間年度)	R12 年度 (最終年度)	備考
①当年度 純利益	経営戦略	34,788	351,511	317,749	269,888	119,070	R20に赤字発生(△1,781)
	決算値	135,634	178,912	386,502	—	—	※R6年度は決算見込
	経営戦略と決算値の差	+100,846	△172,599	+68,753	—	—	
②当年度末 内部留保 資金	経営戦略	13,814	175,010	287,308	400,127	165,936	R13に資金不足発生 (△14,114)
	決算値	325,460	348,092	618,325	—	—	※R6年度は決算見込
	経営戦略と決算値の差	+311,646	+173,082	+331,017	—	—	



[令和6年度] 経営戦略と決算見込値の差の主な要因

①当年度純利益

職員給与費の減少等

②当年度末内部留保資金

令和5年度までの内部留保資金のプラス分

令和6年度の当年度純利益、水道管路耐震化に係る国庫補助金及び繰入金のプラス分等

(2) 工業用水道事業会計

(単位:千円)

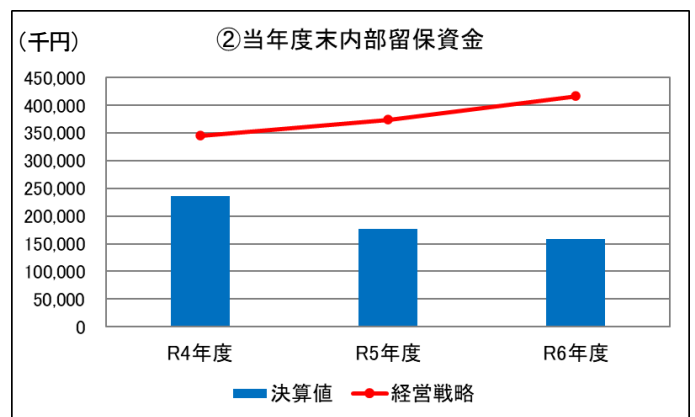
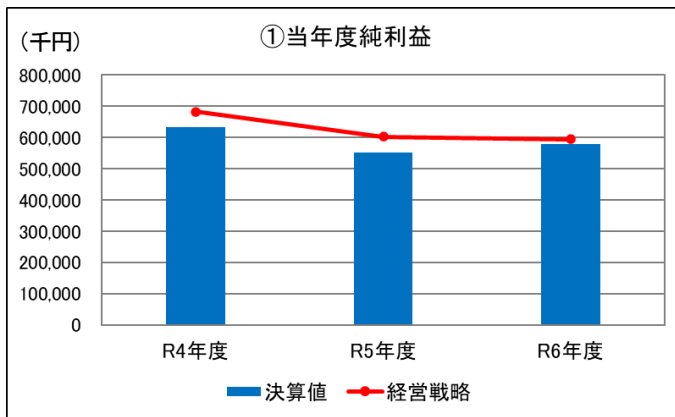
		R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度 (中間年度)	R12 年度 (最終年度)	備考
①当年度 純利益	経営戦略	0	0	0	0	0	
	決算値	0	0	0	—	—	R6年度は決算見込
	経営戦略と決算値の差	0	0	0	—	—	
②当年度末 内部留保 資金	経営戦略	—	—	—	—	—	
	決算値	—	—	—	—	—	R6年度は決算見込
	経営戦略と決算値の差	—	—	—	—	—	

受水企業2社の負担により運営する事業のため、当年度純利益は0円。当年度末内部留保資金も無し。

(3) 下水道事業会計

(単位:千円)

		R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度 (中間年度)	R12 年度 (最終年度)	備考
①当年度 純利益	経営戦略	681,937	601,896	594,583	461,093	132,156	R13 に赤字発生(△56,362)
	決算値	631,860	551,934	577,416	—	—	※R6 年度は決算見込
	経営戦略と決算値の差	△50,077	△49,962	△17,167	—	—	
②当年度末 内部留保 資金	経営戦略	344,728	373,571	416,160	427,416	1,178,935	R34 に資金不足発生 (△178,073)
	決算値	235,431	176,620	158,849	—	—	※R6 年度は決算見込
	経営戦略と決算値の差	△109,297	△196,951	△257,311	—	—	



[令和6年度] 経営戦略と決算見込値の差の主な要因

- ①当年度純利益
 - 一般会計負担金の減少等
- ②当年度末内部留保資金
 - 令和5年度までの内部留保資金のマイナス分
 - 令和6年度の当年度純利益のマイナス分等